

川上ダム建設計画の規模変更についての提案 2005.10.28.

	ダム規模	治水	利水	問題点
原計画 850億	総貯水容量 33,000千m ³ 提高 91m	岩倉峡開削を前提 木津川・淀川の洪水調節 島原計画高水量 4,500m ³ /s	西宮市 0.211m ³ /s 47億 奈良県 0.3 m ³ /s 66億 三重県 0.6 m ³ /s 135億	ダム建設に伴う自然環境諸問題 活断層等地質上の不安と疑問 附帯工事の自然破壊・残土処分方法
現時点 墳予定 (数字は推定)	規模縮小 総貯水容量 20,800千m ³ 提高 50m	岩倉峡は当初開削しない 上野地区浸水対策 計画高水量の求め方に疑問	三重県頼 0.3 m ³ /s (西宮市奈良県は撤退の意向) 負担金未定・奈良県と同 として 66億	ダム建設に伴う上記諸問題 検討中未解決多し
変更提案 - ①	治水専用ダム とする。 遊水池として 計画変更する。 ただし、 自然調整材による築山 堰堤と同一別紙参照	上野地区浸水対策 ダム+遊水池+河川整備 問題点 ・岩倉峡の疎通能力 基本高水量の求め方。 ・1/10エリアでのダムの 有効性。	利水を切離す。 三川の源流域に おいて豊かな水源の 供給に恵まれている伊賀 市において、66~135億も お金をかけてまでダム から水源を求める必要は ない。 自己水源の確保に努 めるべきである。	治水目的のみであれば、常時 貯水を必要とせず、 遊水池とするならば 自然環境諸問題等は 発生しない。 さらに自然環境の再生 や景観の修復などにより 地域活性化の施策を創出 出来る。
変更提案 - ②	ダム不甲 ダム予定地を森林公 園等に自然環境整備	上野地区浸水対策 遊水池+河川整備 岩倉峡を開削せずに 浸水対策を行う。		

流域委員会 提言

ダムは自然環境に及ぼす影響が大きいなどのため、原則として建設しないものとし考えるすべての実行可能な代替案のもとで、……
……勝……

自己水源・貯水池の確保

今までの地自治体における水需要対策についてダム計画に依存することへの警告を發し、今後は各自治体において自己解決をする方法としての事例を示す。これに、一極集中型の都市の無節操な開発を抑制し自らが保持する能力と機能に基づく良好な環境の都市形成に専らものである。

667 小原善弘氏
川上ダム計画変更提案について。

遊水地とする提案 - ①

050830

- 川上ダムは、
1. すでに利水目的を失っている。
 2. 治水目的のみであれば貯水機能は不用品。
 3. 上野地区治水対策のための「遊水地」として計画変更。

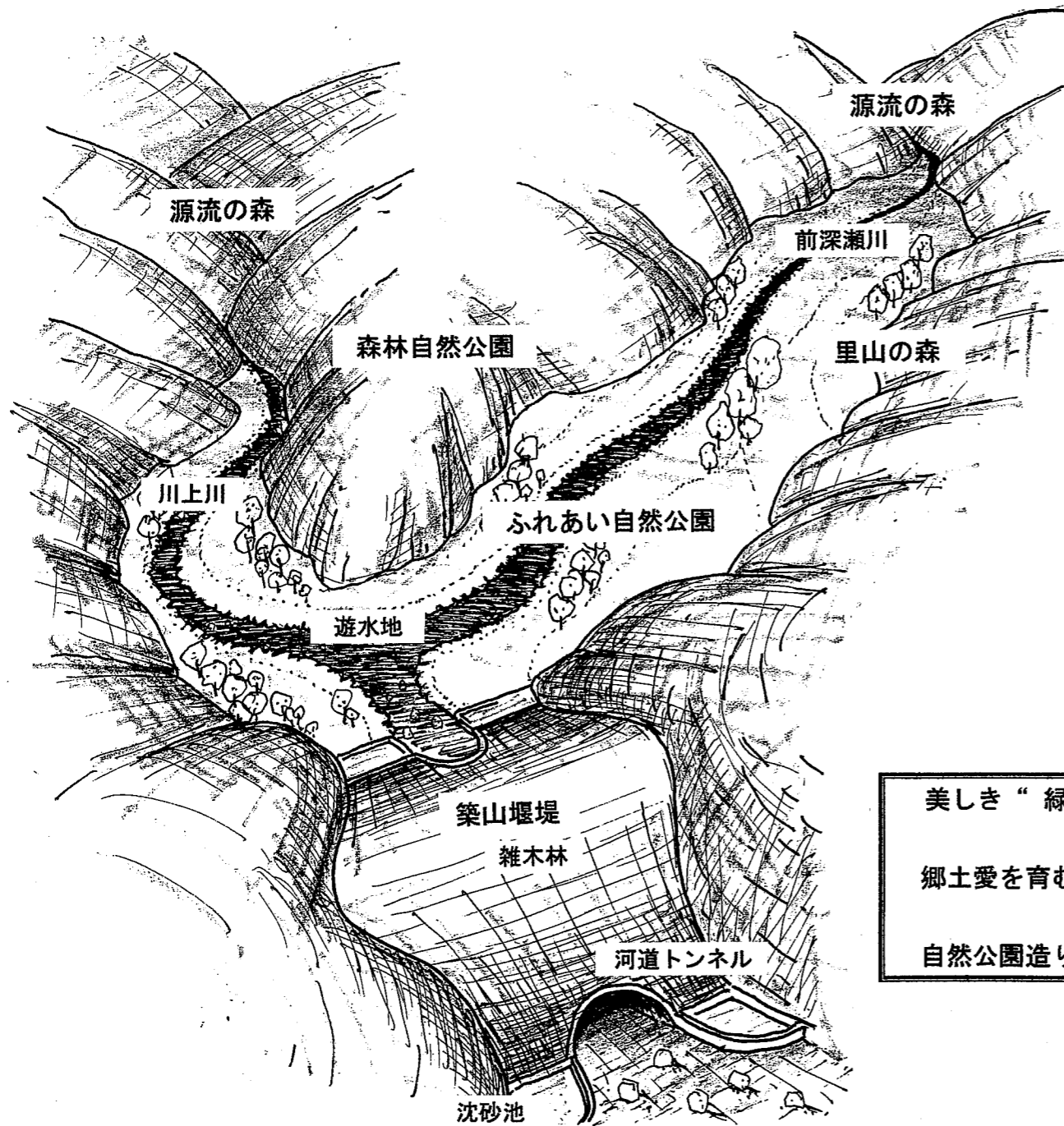
提案事由

1. 源流として
あるべき環境整備 …… 遊水地での洪水調整機能は数10年に1回と思われ、
るので水没を考慮して上流の水源涵養林などの自然環境を再生・整備する。
2. 景観の修復 …… イン場などのコンクリート製人工構築物は築山・植林などの工夫をほどこし景観の修復に努める。
3. 洪水調整機能 …… ダム予定地を遊水地にする事で最大の洪水調整機能が発揮される。
4. 工事の促進性 …… ダム建設計画の準備が進んでおり問題がほとんど無い。
5. 建設コストの低減 …… 現計画ダムの規模より縮小出来る。かつ築山構築に当っては、現仮置残工を利用出来、コスト低減が可能である。
6. 自然環境問題 …… ダム建設における自然環境問題がまったく発生しない。
木材、材サビノイオなどの影響が無くなる。
7. 地域活性化 …… 21世紀を見つめる子供達のために、本物の自然とのふれあいを奨励し、自然資産を創出するを基に行政と住民が一体となった活性化プランを策定実行する。
8. 今後の検討と課題 …… 移転住民の感情と理解
〈自然公園と地域活性化プラン・住民参加〉
洪水調整容量の正確な把握。
基本高水量、岩倉峡の流水量と
開さく又は部分開さくの可能性

提案 - ②

流域委員会の提言〈今後原則としてダムは造らない〉を前提としたダム予定地の自然公園案にて公園の内容及実施に向けた提言は前述提案-①と同様である。

洪水対策と〈源流の森とふれあいの空間の創造〉の提案



美しき“緑と水”の再生と
郷土愛を育む一住民参加による
自然公園造り事業の創生。

遊水地・築山堰堤イメージ図

目的 : ダム湖予定地を、治水目的とした遊水地として計画する。

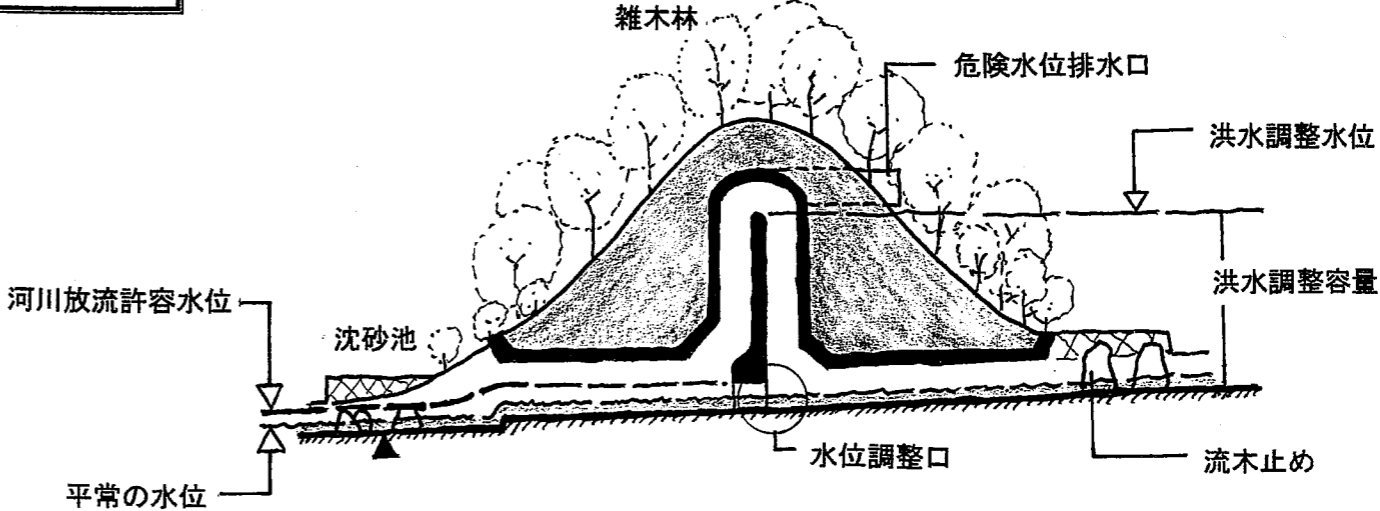
遊水地は洪水調整機能のほかに緑豊かな自然環境を再現し育成はかると共に水源涵養の森としての機能を維持する。および森林と河川のふれあいレクリエーションの利用に寄与する。

概要 : 環境と景観を配慮した築山堰堤を構築する。構築にあたっては、現在実施中の県道—青山・松阪線付替工事において発生した残土を利用する。築山に自然林を再現する。

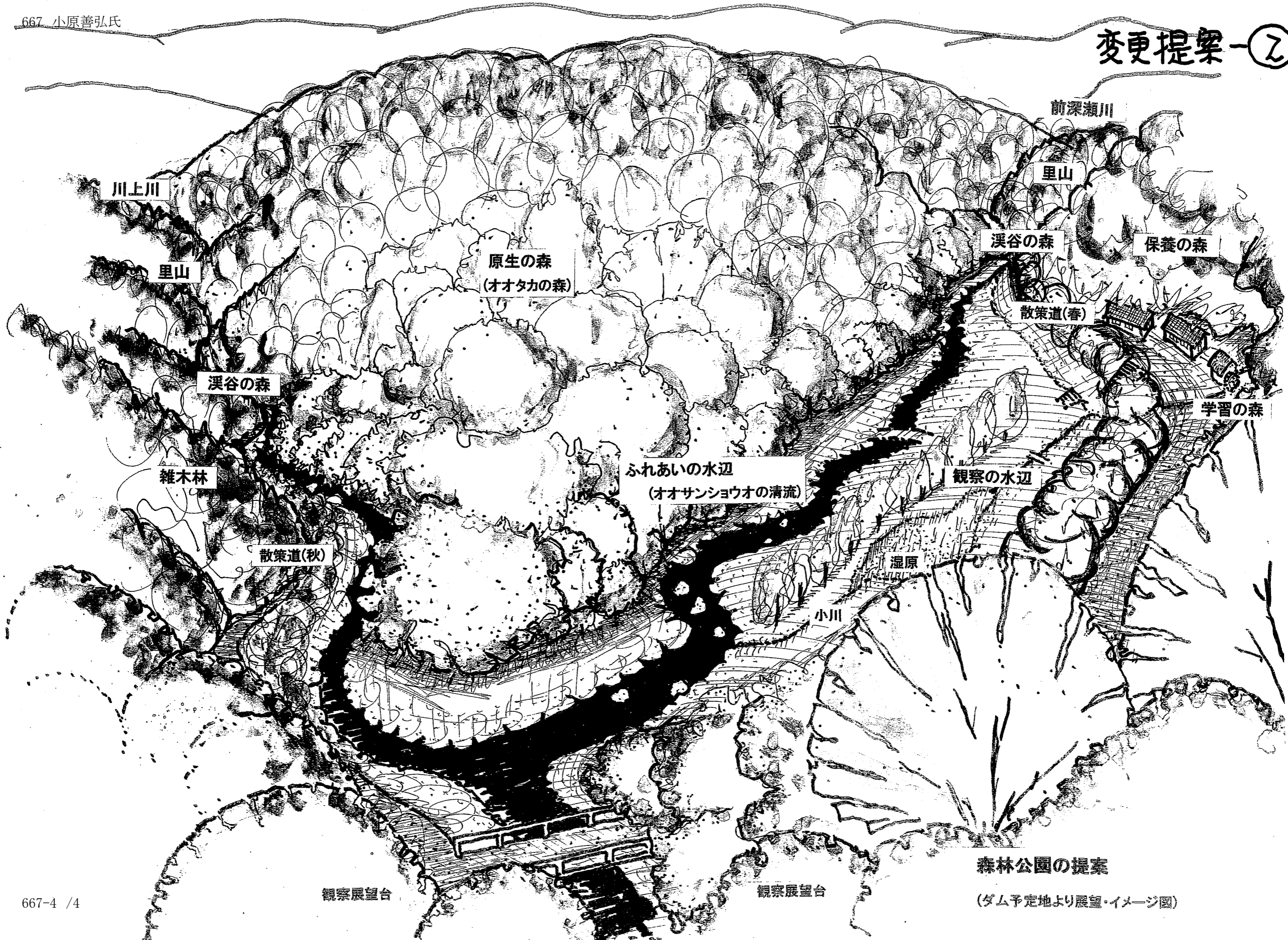
築山堰堤を貫通する河道トンネルを設け川の流れを確保する。

河道トンネル内にて、川の自然放流特性による自然調整方式によって洪水調整を行う。

この方式は、上流から流下してくる土砂を流れといっしょに下流に排砂することが出来る。また魚類も上流に遡上することが可能であり現状の自然な流れを維持することができる。そのほかこの構造は、洪水調整湛水時における枯葉や流木などの流下物を下流に流出を防止する機能がある。



築山堰堤 断面



森林公園の提案

(ダム予定地より展望・イメージ図)

観察展望台

観察展望台